



文化庁長官 宮田亮平 様

特別史跡名古屋城跡にかかる要望事項

名古屋城天守閣は、旧国宝第一号であり、「昭和実測図」「金城温古録」「ガラス乾板写真」などの豊富な史資料に基づいた史実に忠実な復元が唯一可能な天守閣である。木造復元は、230万人の名古屋市民の切なる願いであり、戦後再建され老朽化が著しい他の城郭にとっても、リーディングケースとなり、「史跡等における歴史的建造物の復元に関する基準」に従った復元に取り組むことができる最大の天守閣である。

また、復元後においても誘客に資する施策を積極的に展開するとともに、絶えず必要な投資を行い、国の政策に呼応した「文化財を保存優先から理解促進、そして活用へ」を高いレベルで具現化し、海外からも多くのお客様をお迎えし、文化・観光によって日本の発展の原動力とする決意である。

文化庁から技術的助言等を受けながら丁寧な上にも丁寧な対応を心がけ、特別史跡名古屋城跡を世界に誇る日本一の近世城郭として整備を進めることに不退転の決意で取り組むとともに、以下のとおり要望する。

- 一、名古屋城天守閣木造復元の意義を国としても改めて認識いただき、文化庁からの更なる技術的助言、指導の強化を実現すること。
- 一、文化財の保存から活用へと大きな国の政策転換の中で、文化庁の体制の強化と予算の大幅な拡充を図り、財源確保を実現すること。

令和元年 7月30日

名古屋市長 河村たけし